

## 掘る 植える 刈る

### じっちゃんまの稼ぎぶり

ああ、おれのおっぴい祖父（じい）ちゃん、仕事したの、うんとお。昔の人だから、稼（かしえ）いだんだねえ。今の二人前は稼（かしえ）いだのね。朝の四時んなところ起きてねえ、夜の九時か十時ころまで、まず十二時間は稼（かしえ）いだんだね。昔はほんとに稼（かしえ）ぐばりなんだ。

あいったもん、おら方（ほ）田んぼ、一反歩掘ったって、なに、うんと作悪（わり）かったのね。そのために、山仕事おやったのね。木い伐ったり、木流したり、全部、あゆの。だから、おら家（い）の祖父（じ）っちゃんま、もと営林署の代理しだったから。あの山の監視ね。いっさい、世話（しえわ）しだんだね。五十年近くやってたね。ああ、営林署の電話あったよ。こうゆ、カタンってなってる、四角の、うん、手で廻すのね。

あれだっちゃんあ、むかし稲は、吉田の方でうんど育（おが）っててもね、升沢では小（ちゃ）っこいからはやあ。田植えだってやあ、遅れたからはや。で遅れでもね、戦後になって、丈（たけ）しないけどもじゃあ、米っこ獲れたの。んでも、下（しも）の方で十俵獲れるときねえ、おら方（ほ）では五俵も獲れねえの、一反歩から。だけっども、やっぱ、食（か）あねえでいらんねえからじゃあ、作（つぐ）ったの。

用水路も、おら家（い）のおっぴい祖父（じん）つあん、引いたんだからじゃあ。ちょうどおれ、七つ、八つ々の時だから。おれ覚えあんだ。じんつあまあ、負ぶって連（ちえ）てかれて。なんだっけ、一月以上かかってんだから、掘り方じゃあ、少しばりでねかったね。それでねえ、ほの水使って、上から水落どして、あすぐに発電所こしやえたんだよ。自家発電。下原あたり、全部電気やってじゃあ、明るぐして。昭和二十七、八年なんだっけ。

（『升沢にくらす』 p.266）